

# 京都聴言ニュース

3月号 月刊 No. 570 (毎月1日発行)1部200円 昭和49年12月11日 第3種郵便物認可

発行所

〒604-8437

京都市中京区西ノ京東中合町2番地

社会福祉法人

京都聴覚言語障害者福祉協会

TEL(075)841-8336

FAX(075)841-8311

代表者 高田 英一 編集人 奥本 初実

## サン サン カフェ sunsun cafeへ ようこそ!



「田辺茄子カレー」は  
初夏～秋限定の人気商品



炒め具合は指先からの感覚で  
食材の状態を判断する

盲ろう者の林和男さん(68歳)は  
京都府聴覚言語障害センター1階の  
sunsun cafe(就労継続支援B型)  
スタッフの一人です。視覚と聴覚以  
外の感覚を繊細に活用してサラダ  
やカレーソースを仕込み、キッシュ  
の生地を伸ばしタルト型に敷き、また、具材炒めと、段取り良くこな  
す林さんの作業は盲ろう者であることを感じさせません。

「当店では私のような盲ろう者以外にも、ろう者や難聴者、いろん  
なスタッフが働いています。カレーやキッシュ、チーズケーキなどい  
ずれの商品も美味しいですよ。ぜひお立ち寄りください。」

そう語る林さんの表情は自信に満ち溢れています。持ち味をいか  
した働き方とおいしさ。それがsunsun cafeの一番の売りです。

京都府聴言センター

検索

ファクス/電話

0774-30-9001

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/communityplaza/>

## 東西南北

年度末の3月になると、高齢の聴覚障害者協会会員からときたま「会費を払えないので、新年度から協会会員をやめたい」とか「新聞の定期購読を打ち切りたい」といった声が聞かれる。たしかに、出費を切り詰めざるをえない状況に違いない。そのことを数字で証明してくれるデータがある▼厚生労働省のホームページに「平成27年度国民生活基礎調査の概況」が掲載されている。図表「世帯の生活意識の年次推移」を見ると、「生活が苦しい」と回答している人が平成19年度は57・2%だったが、平成27年度には60・3%と増加している。いまままで「普通」に暮らしていた人たちが、「苦しい」生活に追い込まれているのだ。家計消費は15か月以上連続で前年比マイナスを続けている▼国の来年度予算案でも、後期高齢者医療保険料の引き上げ、70歳以上の高額療養費の患者負担増などが見込まれている。高齢化などで必要となる社会保障費の増額分が削減され、大企業への4兆円もの減税・優遇はぼつちり。格差と貧困が進み、高齢者や障害者の生活は苦しくなる一方だ▼厚生労働省の国民生活基礎調査で明確になったように、いまや「誰もが貧困に陥ってしまう社会」になっている。冒頭の話に戻るが、こんな時だからこそ「会員をやめる」ことは思いとどまり、みんなが団結・共闘して「1%の富裕層や大企業でなく、99%の国民を豊かにする政治」に転換させよう。(松島謙司)